



## 湯沢市ゼロカーボンシティ宣言



近年、地球温暖化が原因と見られる異常気象が世界各地で発生しています。湯沢市においても、これまでに経験したことがないような猛暑や豪雨、豪雪などが頻発しており、その対策は喫緊の課題となっています。

2018年のIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされており、日本では、2020年10月に政府が「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。

このような中、湯沢市においても、先人から受け継がれてきた「ふるさとゆざわ」の自然や文化を未来に生きる子どもたちに、しっかりとつないでいかなければなりません。

私たちは、直面する地球温暖化に歯止めをかけ、環境・経済・社会の持続的な発展を図るため、温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制し、脱炭素社会の実現に向けて取り組む決意をしました。

以上の背景と趣旨をもとに、2050年までに湯沢市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指し、それを実現するための市民生活、事業活動、行政施策などを、市民、事業者、行政が一体となって力強く進めていくことを誓い合い、ここに、「ゼロカーボンシティ宣言」を行います。

2022年 6月 28日

湯沢市長

湯沢市議会議長

佐藤 一夫

渡部 正明

湯沢商工会議所会頭

ゆざわ小町商工会会長

和賀 幸雄

佐藤 正明